



# 散策のススメ

## 禅林街と前町

弘前は「みちのくの首都」といわれ、多くの寺や神社があります。なかで弘前城の西南には曹洞宗三十三カ寺を擁した「禅林街」、城の南には各宗派のお寺が並ぶ新寺町が町割りされています。弘前における神社仏閣は東門を守る弘前八幡宮をはじめとして、文化的・政治的意味を含んで計画的に配慮され、城と密接につながって防護線を形成しています。

特に、西南の抑えとして築かれた長勝寺構、有事の際に水を放流するために掘られ、弘前池と、最後の五重塔(重要文化財)の指定を受けたなかで、ある新寺構は、城と城下町を守る重要な役割を担ってきました。

禅林街に入る手前の茂森野郎は弘前城下で最も古くから町割りされたところで、特に茂森町は町名も範囲も当初と変わらない数少ない町です。小浜や相馬、日屋方面から続く街道のある市街地として、当初から商家街として栄えてきました。茂森町は現在もたくさんの商店が並び、往時の面影を偲ぶことのできる景観となっています。

### 散策ルートの町名の由来

#### 白銀町の由来

著名な鑄師人の正阿弥をよび、金銀細工の職人が多く居住していたため「白銀町」と呼ばれるようになったとされています。明治に入り、問もなく、現在のようになつて上白銀町と下白銀町に分かれました。

#### 塩分町の由来

築城当初は塩蔵(しほく)町と呼ばれ、瀬戸内海の塩蔵島を拠点とする海産物(水産物)の子孫が暮らし、現在の上白銀町と塩分町の間にある町として、今の塩分町は塩蔵町と呼ばれていました。寛文年間(1661~1672)は「得町」、元禄6年(1699)には「茂森野郎通」や「覚勝前町の町」と呼ばれ、現在の「塩分町」などは元禄16年のこととされています。

#### 森町の由来

築城以前は、重森山が有り、重森山の「森あるいば」山を切り崩した跡が盛んになったことによるものと考えられています。森町、城下に時を告げる時鐘堂がありましたが、藩政初期には時鐘堂への通り道は塩分町でした。元禄6年に時鐘堂への通り道が現在の本町口に通り替えられ、年後の正徳元年、ようやく森町がつけられたのです。

#### 寛仙町の由来

10軒の鍛冶屋があり慶安2年(1649)の絵図では「かぢ町」と呼ばれていましたが、町内に寛勝院という修験院があったことから元禄13年(1700)には「寛仙前町」と改名されました。寛文年間(1661~1672)には「寛仙町」と改名されました。

#### 本町の由来

藩政初期から鍛冶や銅冶の職人町で、著名な刀工が住んでいたことから本鍛冶町と呼ばれ、この略称から本町となりました。宝永2年(1705)、城の大手門入口が南門(現大手門)となつてからは、業者が軒を連ねる商人町となりました。

#### 藩政時代の由来

藩政時代初期には「藤町」と呼ばれていましたが、やがて江戸で召し抱えた家臣をこの地に住まわせたことから、在府町と呼ばれるようになりました。多くの偉人が生まれ育った町です。

### 近隣の見どころ

- ①ニテツ建造物群
  - 明治時代に建てられた、今はなき角弘金物店/角弘呉服店/大正時代に建てられた弘前公会堂など、実際の建造物が並んでいます。
- ②藤田記念庭園
  - 「さいかちのあたりから右側の崖を駆け上っていく」と広い招撞堂の境内の裏側にいられたのだ、招撞堂はいまは公園の中に移っています、昔の敷地はある実業家の私有地になっています(右坂洋女部「わが半生」)
- ③山車展示館
  - 山車は4代藩主・信春の時代、天和2年(1682)8月15日、弘前八幡宮祭礼の際に各町の若者達によって繰り出されたのが始まりとされています。展示館には7台の山車と、ねぶたにも出陣する津軽剛情張太鼓が保存されています。
- ④三ツツ建造物群
  - 日本商工会議所も務めた実業家である藤田謙一が、大正8年(1919)に郷里、弘前に市に別邸を構える際に東京から庭師を招いて建てさせた江戸風な建築の庭園。別邸である洋館は、高台邸にあり、玄関先まで反りを付けた下された袴腰根や階段吹き抜け部の八角形の塔印のデザインとなつており、弘前の名工、堀江佐吉の長男・六男が設計・施工を行っています。和館は、昭和12年(1937)板柳町に藤田謙一の木宅として建てられたものを、昭和36年(1961)に移築してきたのです。

### 散策ルートの昭和

- 天満宮の狛犬
  - 昭和3年(1928)、昭和天皇の即位を記念して建立された狛犬です。カールした前髪やひげ、きりりととつた尾など、素材ながら江戸川流の特徴がみられます。境内中には、もう1対の狛犬も隠れています。探してみてもいいですよ。
- 天満宮(大行院のシダレザクラ)
  - この地には元々、津軽領内の山伏をまとめた大行院があり、明治により、修験道の禁止などから廃寺になると、愛宕山橋聖寺から菅原天神を移した天満宮に改称されました。永承は菅原家の末裔である珍重丸から12代目子孫にあたると言われている。また、大行院のシダレザクラとも呼ばれる桜は、樹齢500年を超える古木。シダレザクラは自生しないとされ、当時の有力者が上方から取り寄せたと考えられています。晴れた日には若木山を正面に抱えた絶景を堪能できる景勝地でもあり、桜とあいまって藩政時代の文人や粋人が多くの歌や句を残しました。
- 天満宮の狛犬
  - 天満宮(大行院)の狛犬
- 天満宮の狛犬
  - 天満宮(大行院)の狛犬

### 津軽家最初の菩提寺「長勝寺」

#### 長勝寺の由来

長勝寺は享保元年(1728)に大浦盛信が父・光信の供養のために桶里に現在の跡ヶ沢町に創建した菩提寺。慶長15年(1610)の弘前城築城の際に現在地に移された伝えられています。江戸時代初期を代表する建造物です。

#### 長勝寺三門

長勝寺三門は、寛永6年(1629)に2代藩主・信長により建立されました。御影堂は寛永元年(1624)に建てられました。長勝寺の三門は、寛永6年(1629)に2代藩主・信長により建立されました。

#### 長勝寺御影堂

御影堂は寛永元年(1624)に建てられました。長勝寺の三門は、寛永6年(1629)に2代藩主・信長により建立されました。

- ② 杉並木
  - 参詣者を誘うように道の両側に並ぶ杉並木は、禅林街の威かさを一層深めています。実は、4代藩主・信政以前は杉並木で、大要堂を建てた大勢の人々を集め、大要堂を建てておくはな、高麗門形式で建てて、杉並木を植えることになりました。桜とあいまって藩政時代の文人や粋人が多くの歌や句を残しました。
- ③ 黒門
  - 黒門は、長勝寺を正面として寺院の総門と名づけられ、長勝寺の威かさを一層深めています。黒門は、4代藩主・信政以前は杉並木で、大要堂を建てた大勢の人々を集め、大要堂を建てておくはな、高麗門形式で建てて、杉並木を植えることになりました。桜とあいまって藩政時代の文人や粋人が多くの歌や句を残しました。
- ④ 赤門
  - 赤門は、長勝寺を正面として寺院の総門と名づけられ、長勝寺の威かさを一層深めています。赤門は、4代藩主・信政以前は杉並木で、大要堂を建てた大勢の人々を集め、大要堂を建てておくはな、高麗門形式で建てて、杉並木を植えることになりました。桜とあいまって藩政時代の文人や粋人が多くの歌や句を残しました。
- ⑤ 宗徳寺
  - 宗徳寺は、寛永元年(1624)に2代藩主・信長により建立されました。宗徳寺は、寛永元年(1624)に2代藩主・信長により建立されました。
- ⑥ 開院院
  - 開院院は、寛永元年(1624)に2代藩主・信長により建立されました。開院院は、寛永元年(1624)に2代藩主・信長により建立されました。
- ⑦ 禅林街「坐禅修行」
  - 【精進料理と食の詰】(観音山曹洞院)
    - 精進料理と食の詰 (5月~11月)
    - 予約(10日前まで)
    - 材料名/300円
    - 申込/弘前観光コンベンション協会
    - 電話/0172-32-3131
    - メール/hrokan5@jcom.ne.jp
- ⑧ 曹洞院
  - 曹洞院は、寛永元年(1624)に2代藩主・信長により建立されました。曹洞院は、寛永元年(1624)に2代藩主・信長により建立されました。
- ⑨ 永承寺
  - 永承寺は、寛永元年(1624)に2代藩主・信長により建立されました。永承寺は、寛永元年(1624)に2代藩主・信長により建立されました。



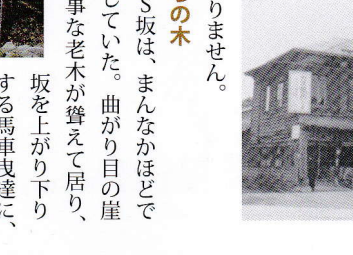
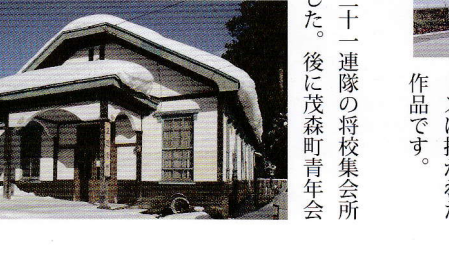
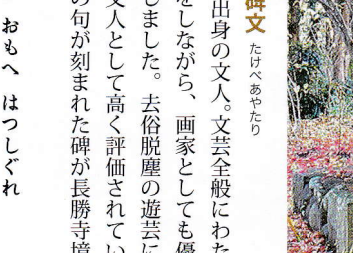
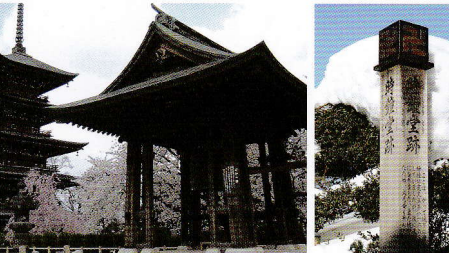
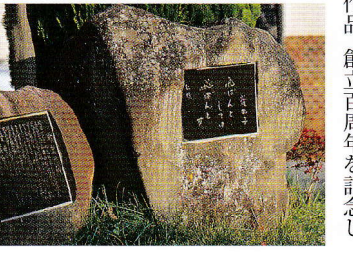
歴史あるたがずまいを散策

佐藤紅緑の句碑 一人立ちをしようと、必死に志して飛ぼうとする雀の子...

江戸中期 津軽出身の文人 文芸全般にわたる多彩な活動をしたが、画家として優れた作品を残しました...

弘前市で初の洋館(本町) 江戸で蘭学を学び開業、後には弘前藩の蘭学者として活躍...

弘前市市場 78歳の前川男が設計し、弘前における最後の作品として完成されたフラット屋根待合ホール...

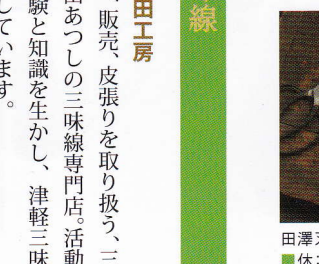


弘前市役所は前川圓男、1958年(53歳)の設計

Map of Hirakawa City showing various locations, bus routes, and cultural sites. Includes a central box for '散策オススメルート' (Recommended walking routes).

津軽三味線 三味線の修理、販売、皮張りを取り扱う三味線業者多田あつし...

田沼打刀物 藩主や武士の命を守る武器をつくる鍛冶職人田沼作次郎...



城下町が形成された当初から作られた商家街

Cafe yunagura (藤田米穀店) 約100年前に建てられた藤田米穀店の米蔵を改装した...



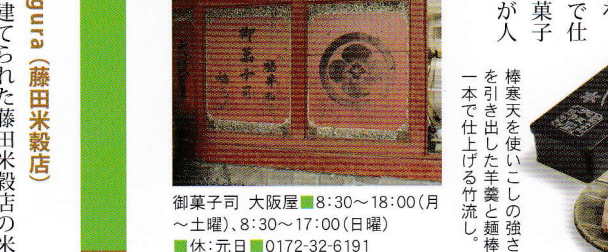
Cafe yunagura ■13:00~17:00 ■休:土・日曜営業■0172-32-2580

田沼打刀物 藩主や武士の命を守る武器をつくる鍛冶職人田沼作次郎...



田沼打刀物 ■7:00~19:00 ■休:日曜■0172-32-1087

郷土料理・食堂 昭和50年創業以来、学生や市民の憩いの場として親しまれている郷土料理店...



中華そばマル金 ■11:00~14:00、17:00~21:00 ■休:日曜■0172-35-1933

加藤酒造 禅林街の一角にある木造建築の昔ながらの酒屋...



加藤酒造 ■9:00~18:00 ■休:日曜■0172-32-9346

民芸工芸 青森の伝統工芸品でもある、あけび葛細工の制作、販売をされています...



みかみ工芸 ■9:00~17:00 ■休:日曜 ■0172-34-6978

インカ工芸 ■時間不定(要問合せ) ■休:休 ■0172-32-8992



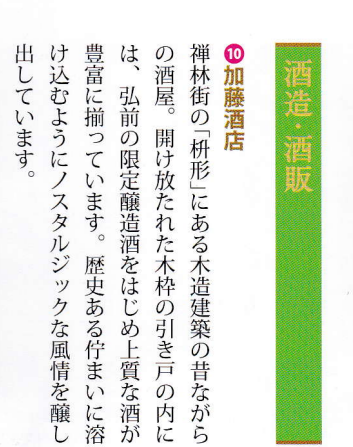
インカ工芸 ■時間不定(要問合せ) ■休:休 ■0172-32-8992

郷土料理・食堂 日替りランチ ¥600(種別付700円)



日替りランチ ¥600(種別付700円)

喫茶 緒縁 10:00~19:00 ■休:日曜、祝日 ■0172-35-9878



喫茶 緒縁 10:00~19:00 ■休:日曜、祝日 ■0172-35-9878

洋和菓子 カトリヌ 甘すぎない生クリームにケキや、酸味がほどよい...



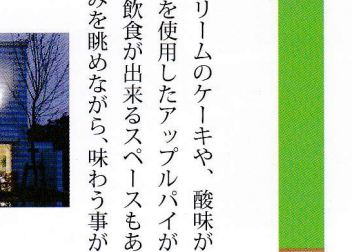
カトリヌ ■9:00~19:00 ■休:水曜■0172-32-2619

御菓子司 大阪屋 寛永7年(1630)創業の弘前一長い歴史を持つ御菓子舖...



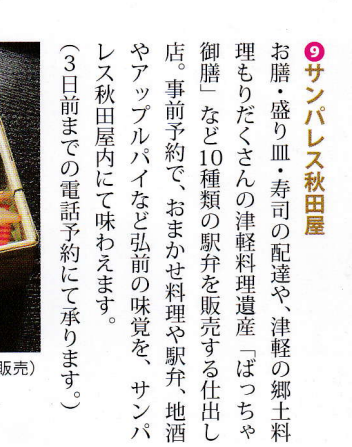
御菓子司 大阪屋 ■8:30~18:00(月曜) ■休:元旦 ■0172-32-6191

郷土料理・食堂 中華そばマル金



中華そばマル金 ■11:00~14:00、17:00~21:00 ■休:日曜■0172-35-1933

加藤酒造 禅林街の一角にある木造建築の昔ながらの酒屋...



加藤酒造 ■9:00~18:00 ■休:日曜■0172-32-9346

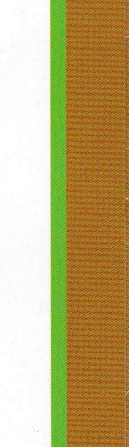
田沼打刀物 藩主や武士の命を守る武器をつくる鍛冶職人田沼作次郎...

田沼打刀物 ■7:00~19:00 ■休:日曜■0172-32-1087



ライトアップされた栄螺堂

桑ノバレス秋田屋 お膳・盛り皿・寿司の配達や津軽の郷土料理もたくさん...



桑ノバレス秋田屋 ■9:00~19:00 ■休:無し ■0172-35-8888